



新しい企業システムの提案

令和6年3月11日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

企業システムの進歩は、その効率性とコスト基準を転換し、高い利益性への転換を可能とする。

これらは、ITシステムへの企業経営の転換と、ビッグデータにおける企業経営など、ITシステムにおける生産性の拡大が、コスト基準の向上させ、企業の高い利益性への転換を可能とするからなのである。

これらはインダストリー4.0という現実とともに、新しい企業におけるスタンダードの転換を現実において有するのである。

これら、新しい企業の経営は、企業が他方において、その自由と選択において、製品とサービスにおける新しい社会基準を有するのである。

これらはグローバルスタンダードという黒船を否定できないのである。

これらは、新しい生産性と効率性を有し、これらが創造に勝る高い利益性の構築を可能とするのである。

これら新しい企業システムが優れるため、グローバル戦略の転換を与えることを理解することができる。

これらは、全ての世界の地域拠点における企業展開が、これら新しい企業システムにおいて、可能とするからなのである。これらは明らかに飛躍であり、既存企業システムの完全な転換であることは理解しなくてはならない。

これらは明らかに新しい可能性であり、企業の自己プレゼンスの拡大なのである。これらは世界のメジャーに対してこれら企業システムにおける対等性の構築を実現できると考える。これらは、企業の製品とサービスとともに、企業が新しい未来という現実へ参加することへの新しい要求であると考ええる。

